



平成22年度 名城大学総合研究所 「学術研究奨励助成制度の推進課題」決定

平成22年度の「学術研究奨励助成制度の推進課題」が学内の「総合研究所運営委員会」「学術研究審議委員会」において「独創性・新規性・妥当性・社会性・計画性・実施体制」等総合的な判断により決定されました。

1. 若手研究助成事業費

内容 本学専任教員(平成22年4月1日現在37歳以下)が、科学研究費補助金をはじめ学外の研究助成(学外競争的資金)獲得のための準備段階の研究で、個人または学内の教員(37歳以下)とのグループ研究を対象に助成する。

2. 基礎的研究促進事業費

内容 本学専任教員が、募集対象の前年度(平成21年度)に、科学研究費補助金をはじめとする学外の研究助成(学外競争的資金)に研究代表者として、より発展をめざす研究計画で申請を行ったが、採択に至らなかったものを対象に助成する。(研究分担者を伴うグループ研究を含む)

3. 研究成果展開事業費

内容 本学専任教員が、募集対象の前年度(平成21年度)に、科学研究費補助金(継続を含む)又は学外競争的資金(年額100万円以上)に研究代表者として採択された評価の高い研究で今後いっそう飛躍が期待できるものを対象に助成する。(研究分担者を伴うグループ研究を含む)ただし、科学研究費補助金等の採択課題毎に1回の助成とする。

4. 戦略的研究開発推進事業費

内容 本学専任教員の複数名からなる研究グループの行う共同研究で、研究領域・分野の特定を行わず、既成概念にとらわれることなく、独自の課題認識の基に研究テーマを設定し、具体的に成果をあげることを目的とした、提案公募形式による特色のある共同研究を対象に助成する。

5. 学際的共同研究事業費

内容 本学専任教員の複数名からなる研究グループの行う学際的共同研究を推進するための研究を対象に助成する。ただし、研究遂行上必要な場合は学外の研究参加者の参加を認めます。単年度申請とするが、継続申請を認め、最長3年間とする。

6. 教育研究改善支援事業費

内容 本学専任教員が、原則として個人で進める研究で、実践的、先駆的な特色ある教育方法等の研究を対象に助成する。例えば、教育指導及び手法の改善／効果的教材の開発／導入教育の充実／新しい教授法の開発等で、成果の結実につながるもの。

7. 出版・刊行助成事業費

内容 学術的に価値が高い研究成果で、通常の出版が困難である本学専任教員の単著または共著で刊行予定のものであり、本大学に蓄積された、豊かな学術活動の成果を社会に公開するための学術書・教科書・啓蒙書等の出版・刊行を対象に助成する。

◆「若手研究助成事業費」 採択者一覧 ◆

	所属学部等	職 名	研究代表者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	経営学部	准教授	東田 明	環境会計と組織の変化に関する研究	500
2	理工学部	准教授	坂野 秀樹	音声信号からの3次元声道形状の表示・再合成システムの開発	500
3	理工学部	准教授	溝口 敦子	山地河道における平水時の流砂量の把握に向けた実験的検討	500
4	大学・学校づくり研究科	准教授	中島 英博	学長を対象とした大学経営資質開発プログラムに関する調査開発研究	500
計					2,000

◆「基礎的研究促進事業費」 採択者一覧 ◆

	所属学部等	職 名	研究代表者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	理工学部	教授	鈴木 博志	中国北京市における高齢者福祉施設の整備状況と高齢者福祉システムの構築に関する研究	1,000
2	理工学部	准教授	山田 宗男	高齢者を含むドライバおよび乗員の状態検知技術の開発	1,000
3	理工学部	准教授	平岩 陸	非連続体モデルによるコンクリートの収縮ひび割れ解析	1,000
4	農学部	准教授	林 利哉	レトルト加熱によって派生する筋原線維タンパク質由来ペプチドの解析と機能評価	850
5	薬学部	教授	金田 典雄	アポトーシス誘導因子TRAILの受容体の重合反応の測定法確立の試み	1,000
6	薬学部	准教授	高谷 芳明	植物由来のヘビ毒中和薬剤の開発研究	1,000
7	薬学部	准教授	村田 富保	ストレス顆粒におけるTIS11の機能的役割に関する研究	1,000
8	薬学部	助教	植田 康次	RNA損傷・遺伝子発現への影響および金属毒性・神経性疾患への関与	1,000
9	薬学部	助教	小島 良二	分子シャペロンOsp94による神経変性疾患に関わる変性タンパク質凝集体の代謝制御	1,000
10	薬学部	助教	半谷真七子	がん患者と薬剤師のコミュニケーションに関する調査研究	1,000
11	薬学部	教授	丹羽 正武	泡盛蒸留残渣由来環状ジペプチドの応用研究	850
12	薬学部	教授	湯川 和典	統合失調症様マウスにおけるミクログリア内セマフォリン信号伝達機構の役割解明	850
13	都市情報学部	教授	海道 清信	集約型都市構造形成を指向した都市再生手法とその効果 — 日米欧の比較研究	1,000
14	都市情報学部	教授	木下 栄蔵	主問題経済学と双対問題経済学の提案	850
計					13,400

◆「研究成果展開事業費」 採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	法 学 部	教 授	谷口 昭	台湾総督府文書の形成と蓄積に反映した明治官僚制の特質	1,000
2	経 営 学 部	教 授	國村 道雄	棚卸資産を用いた報告利益管理における予想利益情報の機能：わが国自動車産業の実証分析	1,000
3	経 済 学 部	准教授	岡部 桂史	1930年代の機械輸入と商社 ―トヨタ自動車と安宅商会―	1,000
4	経 済 学 部	教 授	佐土井有里	タイ・マレーシア自動車部品産業における設計開発技術者の技術形成過程比較調査	1,000
5	理 工 学 部	教 授	成塚 重弥	常圧で安全な材料を用いるAIN液相成長(LPE)の開発	1,000
6	理 工 学 部	教 授	丸山 隆浩	SiC表面分解法におけるナノチューブ膜の高品質化と成長メカニズムの解明	1,000
7	理 工 学 部	准教授	日比 義彦	不飽和地盤中に残留する鉱物油の探査方法の現場実証試験のための室内実験	1,000
8	農 学 部	教 授	田村 廣人	バイオインフォマティクスとプロテオーム解析による迅速・簡便な微生物同定手法の開発	993
9	農 学 部	准教授	平野 達也	超多収イネ品種の葉鞘における出穂・登熟期でのデンブン代謝関連遺伝子の発現解析	1,000
10	農 学 部	准教授	氏田 稔	緑色蛍光タンパク質(GFP)を利用した免疫力増強成分の高感度迅速検出法の開発	1,000
11	農 学 部	教 授	松儀 真人	フルオラスミクスチャー合成を基盤とする生理活性ペプチドの簡易合成	1,000
12	農 学 部	准教授	新妻 靖章	里山森林生態系のアンブレラ種ツキノワグマと生物多様性の維持機構に関する研究	1,000
13	薬 学 部	教 授	岡本 浩一	製剤の肺内分布情報に基づいたsiRNA微粒子吸入製剤の最適化	1,000
14	薬 学 部	准教授	井藤 千裕	ファーマコフォア検索を用いた新たながん標的分子の探索研究	1,000
15	薬 学 部	准教授	豊田 行康	生体内エネルギー代謝調節機序の解明およびメタボリックシンドロームの治療法に関する研究	1,000
16	薬 学 部	助 教	岡本誉士典	マウスES細胞を用いた幹細胞の化学発癌メカニズムの解析	1,000
17	薬 学 部	助 教	奥田 知将	肺内送達度モニター機能を搭載した遺伝子吸入製剤の開発	1,000
18	都市情報学部	准教授	杉浦真一郎	介護保険運営の脱広域化による新たな事業展開への影響と課題	1,000
19	人 間 学 部	助 教	畑中 美穂	職業的救済者の惨事ストレスケアのあり方に関する検討	800
20	総合研究所	教 授	高倍 昭洋	死海の耐塩性ラン藻のナトリウムイオン濃度の制御機構の解明	1,000
計					19,793

◆「戦略的研究開発推進事業費【自然科学系】」採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	理 工 学 部	准教授	岩谷 素顕	Ⅲ族窒化物半導体によるLED機能を有した究極の高効率太陽電池の開発	3,000
2	農 学 部	助 教	奥村 裕紀	鳥類の卵・精子相互認識に関与する分子群の分子間相互作用と生理的機能の解析	3,000
3	農 学 部	教 授	小原 章裕	商品開発を目的とした微細藻類の生理活性の検索 ―発がん予防や免疫賦活を目指して―	2,000
4	薬 学 部	教 授	鍋島 俊隆	モデル動物を用いた薬物依存分子メカニズムの解明	3,000
計					11,000

◆「戦略的研究開発推進事業費【文系】」採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	人 間 学 部	教 授	天童 睦子	共生のコミュニティ形成に関する人間学的研究	1,000
計					1,000

◆「学際的共同研究事業費」採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	農 学 部	教 授	大場 正春	デンブンの老化過程に関する熱力学的および化学的解析	2,000
2	教職センター	准教授	平山 勉	遠隔講義システム等を活用した実践力を備えた教員養成に関する総合的な研究	1,920
計					3,920

◆「教育研究改善支援事業費」採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	理 工 学 部	教 授	伊藤 政博	環境創造学科「水域環境創造学」テキストの教材開発	1,000
2	理 工 学 部	准教授	大塚 貴弘	大地震時の室内安全性向上と地域への啓発活動に関する取り組み	1,000
計					2,000

◆「出版・刊行助成事業費」採択者一覧 ◆					
	所属学部等	職 名	研究 代 表 者	研 究 課 題	配布額(千円)
1	法 学 部	教 授	近藤 敦	非正規滞在者と在留特別許可	1,430
2	人 間 学 部	教 授	伊藤 俊一	室町期荘園制の研究	1,500
3	人 間 学 部	教 授	船田 秀佳	脳を動かす言葉力	920
計					3,850

総合計 56,960千円

「紀要」と「総合学術研究論文集」の発行

紀 要 第15号 目次

◇研究報告

3次元骨組解析システム“SPACE”の機能拡張に関する検討
— その1 鉄筋コンクリート構造弾塑性解析機能の組み込み —
村田 賢, 武藤 厚, 前田 大介, 梶原 由貴

3次元骨組解析システム“SPACE”の機能拡張に関する検討
— その2 鉄筋コンクリート骨組の静的・動的挙動の評価 —
武藤 厚, 前田 大介, 村田 賢

都市域における感潮河川と河畔地地下水の水交換過程
原田 守博, 沼津 晃洋

車両運動のドライバーに与える精神的負荷
— 心拍のウェーブレット解析 —
横森 求, 渡辺 慎隆, 星 学文

市街地走行時の走行環境がドライバーへ与える心理的負荷
— 昼間運転と夜間運転の比較考察 —
横森 求, 青野 純也, 藤原 将史, 劉 升

牛の飼養環境において循環する窒素、リンおよびカリウムの定量
林 義明, 菅原 圭佑, 石川 聡

わが国におけるCSRのあり方についての一考察
— アメリカ型、ヨーロッパ型CSRからの展望 —
楠 美佐子

原子価異性イオン液体の開発
— 新規スマート流体の開発に向けて —
吉田 幸大, 田中 博房, 齋藤 軍治

大規模工場建築における敷地境界の空間デザイン
— インターチェンジ周辺に進出した企業等の施設デザインに関する研究 —
谷田 真

ADEAをめぐる判例法理の動向
— 連邦最高裁判決を中心に —
柳澤 武

ゲル状食品の表面波速度測定装置の開発
— 表面波速度測定装置の製作II —
前林 正弘, 大場 正春, 豊田 真司, 前田 三郎

AlGaIn/GaN系高出力パワーデバイスの作製とその温度特性
岩谷 素顕, 上山 智, 天野 浩, 赤崎 勇

超臨界流体化学堆積法を用いた炭素ナノ構造体表面上への高分散白金ナノ粒子の形成
平松美根男, 堀 勝

骨材の粒度分布が実積率に及ぼす影響の推定
寺西 浩司, 谷川 恭雄

環境要素である三価鉄イオンの好気条件下におけるアルキルフェノールポリエトキシレート生分解への影響
堀田 雄大, 細田 晃文, 佐野 文彦, 若山 学, 丹羽 香月, 吉川 博道, 田村 廣人

Webシステムを用いた教材開発とユビキタスな教育提供に向けた検討
平松 正行

財産分与時における譲渡所得課税の日米比較
伊川 正樹

久保田鉄工所と三菱商事
— 1930年代を中心として —
岡部 桂史

軸直角方向負荷下におけるボルトナット締結体のゆるみ・剛性評価
— 簡略化した限界拘束モーメント評価式の検討 —
西村 尚哉, 村瀬 勝彦

イメージング技術を応用した大規模遺伝子ベクタースクリーニングシステムの構築
奥田 知将, 岡本 浩一

恐怖および不安暴露が性行動に及ぼす影響
— コミュニケーションボックスを用いたマウスでの検討 —
関宮 隆吉

遷移金属を添加したBaZrO₃のプロトン伝導特性
堤 陽子, 池邊由美子, 坂 えり子

高力ボルトで接合されたアングルプレースの破壊挙動について
渡辺 孝一, 山口 亮太, 吉川 瑛人

帯域分割LSPを用いた声道断面積関数に基づく声質制御システムの開発
坂野 秀樹, 荒川 綾則, 内村 佳典, 板倉 文忠

波による浮遊ゴミの海岸への打ち上げに関する実験的研究
伊藤 政博

キク「神馬」の形質転換体作出に向けた諸条件の検討
佐久間敦子, 津呂 正人

不飽和脂肪酸、オレイン酸による上皮—間葉細胞転換(EMT)の分子機構の解明
小島 良二, 伊藤 幹雄

光学活性ビシクロアミノアルコール配位子とその金属錯体合成
原 脩, 福手 吉典, 旭 大輔

現代人が求める墓地和墳墓の形態
— 名古屋市天白区住民を対象とした意識調査の報告 —
安藤喜代美, 宮嶋 秀光, 伊藤 俊一

情報機器の省エネルギー化に関する研究
— HDD高速回転時の振動軽減 —
古川 裕之

デュアルレーザー顕微ラマン・近接場分光装置による遮熱コーティングの熱損傷評価
来海 博央, 太田 航, 藤山 一成, 内村 将大

介護保険制度化における住宅改修事業の課題と要望
— なごや福祉用具プラザの訪問相談事業からの考察 —
鈴木 博志

ルーフボンドによる屋根面貫流熱量低減効果の実証試験
吉永 美香

時系列連続写真の分節実験と景観構成要素の色彩特性変化の分析事例
— タ刻の景観の印象変化とその識別要因に関する考察 —
大影 佳史

渦鞭毛藻が生産する神経毒ガンピエロールの全合成
森 裕二

雌性外生殖器リモデリングにおけるセマフォリン4Dの新規作用機構の解明
— セマフォリン4Dと雌性外生殖器リモデリング —
伊藤 卓治, 吉田 謙二, 竹内 典子, 湯川 和典

カーボンナノチューブの安全性評価研究
— 呼吸器系細胞への影響 —
加藤 美紀, 等 浩太郎, 鈴木 智子, 安藤 義則, 灘井 雅行

ノシセブチン及びノシセブチン代謝物はMEK阻害薬による記憶障害をNOP受容体非依存的に改善する
三輪 将也, 内田 将吾, 堀場 史加, 竹島 浩, 鍋島 俊隆, 平松 正行

がん化学療法誘発性悪心・嘔吐に対する個別化緩和・栄養療法に関する研究
石川 和宏, 岸 里奈, 小路 恵子, 永野 友美, 小谷 悠, 尾崎 紀夫, 丹羽 利充, 長谷川好規, 山田 清文, 野田 幸裕

SiC表面分解カーボンナノチューブ成長法における水素雰囲気中アニール処理効果
— 直径均一化の試み —
丸山 隆浩, 上田 和史, 飯島 祐樹, 成塚 重弥

ヒト吸入パターンシミュレータの開発と吸入剤評価への適用
岡本 浩一, 奥田 知将

改良型フルオラス向山縮合反応における顕著な反応加速効果
— フルオラスタグによる縮合試薬の活性化 —
松儀 真人, 薫田 陽子, 林 利哉, 原 脩

内湾域の環境修復に関する学際的研究
高倍 昭洋

燃料電池発電状態観察のための教材製作
中島 公平, 石原 莊一, 村上 好生

統合型薬物治療学の基盤知識の構築のための教材開発と実践における問題点
永松 正, 大津 史子, 飯田耕太郎

薬学部6年制における臨床実習に向けた感染予防教育法の確立
小森由美子, 長谷川洋一, 田口 忠緒, 岡本 光美

総合学術研究論文集 第9号 目次

◇総 説

有機超伝導体の現状と展望
齋藤 軍治, 吉田 幸大

◇学術論文

マツバギク (*Lampranthus spectabilis*) における塩ストレス下でのCAMの誘導
近藤 歩, 村上(人見)有香, 船隈 透

Penicillium citrinum Thomからの植物毒素Sporogen-A01 単離
安達 卓生, 内藤 信輔, 山田 哲也, 勝崎 裕隆, 今井 邦雄

Trichoderma harzianum Rifai と *Fusarium oxysporum* Schlecht. の混合培養による抗菌物質、エモジンの生産
安達 卓生, 内藤 信輔, 小原 嘉彦

ベニシラミンセレントリシルフィドはDNA鎖切断および酸化的DNA損傷を抑制する
安藤 基純, 西田 博之, 伊藤 和男, 岡本誉士典, 植田 康次, 小嶋 伸夫

E-ラーニングを活用した自己学習システムに関する考察
飯田耕太郎, 永松 正

グレアム・グリーンのフィクションにおける文学的影響
フィリップ・ステファン・ピーチ
ジョン・カール・ウェストビー

レクチンプロット法による組換えカイコトレハラーゼのオリゴ糖鎖の部分構造解析
氏田 稔, 山中麻由美, 前野友美子, 吉田 康希, 大塩 若菜, 上野 由宣, 伴野 豊, 藤井 博, 奥村 裕紀

金属を化学ドーブしたRE-Ba-Cu-O超伝導フィラメントの臨界電流特性
坂 えり子, 鈴木 崇也, 池辺由美子

金属を化学ドーブしたRE-Ba-Cu-O超伝導フィラメントの臨界電流特性
坂 えり子, 鈴木 崇也, 池辺由美子

アークスキュラー菌根菌 *Glomus clarum* 特異的プライマーの設計
磯井 俊行, 鈴木 宏典, 西尾 和実

ニワトリZP1のZPDメインと相互作用を示す精子膜タンパク質の検出
奥村 裕紀, 新井真由美, 岡田 大志, 氏田 稔

ラン藻類の培養におけるβ-caroteneの分解挙動
原田 健一, 長谷川真照, 福島 直子, 西澤 明人, 藤瀬 大輝, 辻 清美

勾配予測を用いた高次元ハール変換と動画画像圧縮への応用
小川 順司, 芦澤 恵太, 山谷 克

動的外力を受ける鉄筋コンクリートアーチの非線形挙動の評価について
武藤 厚, 前田 大介, 齋藤 太士, 山田 直哉

シングルデッキ型浮屋根を有する円筒液体貯槽模型のスロッシング実験
永谷 隆志, 松井 徹哉

編集後記

本号では、平成22年度「総合研究所 学術研究奨励助成制度」採択者一覧を掲載しました。今後のさらなる研究の進展を期待するとともに、次年度も奮ってご応募ください。
また、本年度の「公開講演会」も、多くの人が関心を寄せるテーマだと思えます。皆様のご参加をお待ちしております。
なお、このニュースの企画・編集は下記の企画広報担当と学術研究支援センターが担当いたしました。

企画広報担当

荒川 征夫 (農学部)
田代 樹彦 (経営学部)
多和田昌弘 (理工学部)
和田 実 (人間学部)
福島 茂 (都市情報学部)



名城大学総合研究所

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
TEL(052)832-1151 FAX(052)833-7200
E-mail souken@ccmails.meijo-u.ac.jp